

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

膵頭十二指腸切除術における門脈合併切除例の検討

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵移植外科 講師 坂元克考

【研究代表者】

帝京大学医学部外科学講座 教授 三澤健之

【研究の目的】

膵頭十二指腸切除術における門脈合併切除の血管再建では、門脈の切除長や吻合部の屈曲などに注意し、必要に応じてグラフト再建が用いられます。問題点として門脈狭窄・閉塞や、脾静脈合併切除に伴う術後門脈圧亢進症などの合併症を起こす可能性があります。そこで、膵頭十二指腸切除術における門脈合併切除後6ヶ月以内のこれらの合併症の発生と臨床病理学的因子との関連を検討し、合併症予防のためのリスク因子を検討します。

膵頭十二指腸切除術における門脈合併切除後6ヶ月以内の門脈狭窄や門脈圧亢進症などの術後合併症の発生と臨床病理学的因子との関連を検討することにより、リスク因子の解明や安全対策の策定が可能となることが期待されます。

【研究の方法】

日本膵切研究会参加施設171施設で2019年1月1日から2022年6月30日までに施行された、膵頭十二指腸切除術における門脈合併切除を施行された患者さんを対

象とします。診療録に記載された過去のデータをふりかえる研究(後ろ向き研究)として行います。年齢・性別などの背景要因・検査所見・手術の状況・術後の合併症等に関するデータを収集します。本研究の解析で得られた知見を学会・論文を通じて医療レベル全体の向上を図るとともに、今後診療を受けて頂く患者さんに良質な医療を提供するための資料として活用することで更なる治療成績の向上や合併症等発生低下を目指します。

(利用するカルテ情報) 年齢, 性別, 治療前採血データ, 術前治療の有無, 手術成績, 術後成績などに関する情報や予後データを収集します。

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。
対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、CD-R に保存した症例報告ファイルを簡易書留によって帝京大学に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を削除いたします。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<試料・情報の管理責任者>

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵移植外科 坂元克考

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院肝胆膵移植外科 坂元克考

791-0295 愛媛県東温市志津川 454

Tel: 089-960-5327